

2017年秋学期「アジア共同体講義」シラバス

<アジア共同体：イデオロギーと展望>

—講義内容—

第1週：アジア共同体とは何か、アジア共同体の議論の歴史的考察と課題および見通し（8月22日）

担当者：ベク・ギョンミン（スルタン・ナザルバエフ大学社会学科教授）

第2週：アジア共同体はどのように作動するのかし（8月29日）

担当者：チョン・ジュンゴン（ワンアジア財団研究員）

第3週：世界の経済恐慌、不安、そしてアジア共同体の統合と分裂（9月5日）

担当者：コ・ホユン（スルタン・ナザルバエフ大学政治学科教授）

第4週：科学技術の発展、4次産業革命、そしてアジア共同体内の新しい権力の登場（9月12日）

担当者：キム・ジョンリョル（スルタン・ナザルバエフ大学土木工学教授）

第5週：生命の延長という夢とアジア共同体の人口構造（9月19日）

担当者：チョ・ヨンテ（ソウル大学保健大学院教授）

第6週：アジア共同体と中央アジアの民族コミュニティ（9月26日）

担当者：イエリア（早稲田大学教授）

第7週：アジア共同体内のコリアン・ディアスポラ（10月3日）

担当者：ユン・インジン（高麗大学社会学科教授）

第8週：アジア共同体と中国（10月10日）

担当者：Wenjie Liao（ノースカロライナ州立大学社会学科助教授）

第9週：アジア共同体の経済：日本経済は「まだ」死んでいない（10月17日）

担当者：クリスチーナ・アメージャン（一橋大学大学院商学研究科教授）

第10週：アジア共同体の市民社会の成長（10月24日）

担当者：Nandini Sundar（デリー大学社会学教授）

第11週：アジア共同体の民主化とマスコミ（11月7日）

担当者：キム・テミン（ファイエットビル州立大学マーケティング学助教授）

第12週：辺境から見たアジア共同体：台湾のアジア共同体の観点（11月14日）

担当者：Yu-ju Chien（国立台湾大学社会学助教授）

第13週：辺境から見たアジア共同体:モンゴルが夢見るアジア共同体（11月21日）

担当者：ク・セジン（スルタン・ナザルバエフ大学政治学教授）

第14週：「アジア共同体文学」の可能性について（11月28日）

担当者：ユ・ジョンミン（中国社会科学院アカデミー研究員）

第15週：アジア未来とアジア共同体のビジョンに対する理解（12月12日）

担当者：佐藤洋治（ワンアジア財団理事長）

備考：本講義案は試案であり、担当者陣の日程および一部の担当者が変更になる場合もあります。